

平成 26 年度 技術士 2 次試験 口頭試験レポート

日 時：平成 26 年 12 月 2 日(火) 11:20～11:40

場 所：フォーラムエイト ○○○号室

技術部門：農業部門

選択科目：農業土木

試験官：全国的に天気が荒れているようですが、大変でしたね。

受験者：昨日のうちに上京しました。

試験官：業務経歴を、簡潔に説明してください。

受験者：(1 分で説明)

試験官：北海道と東北の勤務を経験されていますが、同じ積雪寒冷地で、技術的な違いはありますか。

受験者：用水路のフリューム水路などは、これまでの設計基準などの経緯において、構造計算で雪庇（水路天端に風の影響でできる雪の塊）や背面地下水の凍上の考え方などに違いがありました。

試験官：業務の詳細について、説明してください。

受験者：(3 分で説明)

試験官：技術士の受験動機は？

受験者：現在、「入札時における技術評定の委員」などの立場であることから、公務員技術者には質の高い評価・説明を行えるだけの技術レベルが求められ、それを国民に説明する責務があります。技術士を取得することによって、社会的信頼が向上されると考えました。

試験官：今回は、何回目の受験ですか。

受験者：筆記試験は 3 回目、口頭試験は 2 回目です。

試験官：学会へ報文投稿の経歴はありますか。

受験者：学会誌ではありませんが、「農業土木事業協会」のストックマネジメント情報誌「JAGREE」に投稿歴があります。

また、職場が主催する技術研究発表会で、2 度発表しています。

試験官：資質向上のために何をしていますか。

受験者：自己学習として学術誌の購読やネットでの新技術学習、講習会やシンポへの参加、農業農村工学会に入会し、通信教育など取り組んでいます。

試験官：平成 25 年の CPD ポイントは何ポイントか？

受験者：学会の通信教育と自己学習が中心で、25 ポイントですが、職場の「技術検討会議」などに技術士を招き、CPD のプログラム申請しており、この取組を強化します。

試験官：筆記試験の選択科目Ⅲ-2、農業水利施設の保安全管理について、「(3) あなたの提案がもたらす効果と実施する際の問題点」の記述が少ないので、追加したいことなどあれば述べてください。

受験者：(1 分で説明)

試験官：技術士の義務と責務は？

受験者：(3 義務と 2 責務を説明)

試験官：技術者倫理の観点から、資質向上の必要性について、述べてください。

受験者：我々技術者は、新技術の導入や新しい知見など、技術の研鑽に努め、公益性の確保、資質の向上が不可欠で、技術者倫理を自覚し、社会的地位を保つ必要があります。

試験官：技術士は、その使命を全うするため、技術士としての品位の向上に努め、技術の研鑽に励む必要があるということですね。

受験者：そうです。

試験官：以上で、口頭試験を終わります。

受験者：ありがとうございました。

口頭試験を終えて

「業務経歴」や「業務の詳細」に対する直接的な質問はなかった。（「業務の詳細」は、記載内容とは別に課題解決を妨げる問題点を挙げ、提案の考え方を口述。）

筆記試験は、結果がよくても、再現した答案に目を通しておくことが必要。

資質向上と技術者倫理の組み合わせを想定しておらず、問答の後で技術士倫理要綱の前文を質問したものと理解。

試験時間は 18 分。